

R6年度 事業名	合併処理浄化槽設置整備事業補助金
R5年度 事業名	合併処理浄化槽設置整備事業補助金

総合戦略 体系	450	『住みたいまち』で、さばえる！安心で快適で魅力的なまちをつくる	環境にやさしい魅力的なまち	自然環境の保全
------------	-----	---------------------------------	---------------	---------

P L A N 計 画	部署名	上下水道課		開始年度	0	終了年度	9999
	目的	公共下水道の認可区域外および農業集落排水の処理区域外における合併処理浄化槽の設置促進を図ることにより、市民の生活環境の改善と公共用水域の水質保全を図る。（鯖江市合併処理浄化槽設置整備事業補助金交付要綱）					
	概要	公共下水道の認可区域外および農業集落排水の処理区域外に居住する市民が合併処理浄化槽を設置した場合、設置に要する費用等について補助金を交付する。 循環型社会形成推進交付金事業（令和2～6年度：5ヵ年・全体計画：100基）に市独自の上乗せをして実施中。					
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	国庫および県費を財源として設置に要する費用の一部を助成する制度。		
	現在	補助金等交付					

活動指標								
指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
市公式ホームページおよび年1回の市広報誌による広報回数		回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1	0	
成果指標								
指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
設置件数		件	目標値	5	5	10	5	5
			実績値	10	14	3	3	
計算 根拠			達成率	200	280	30	60	
			実数値					
			ランク	A	A	C		
前年度 ランク B、Cの 理由	公共下水道の認可区域外および農業集落排水の処理区域外における転入人口の減少							

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	19,119	8,224	8,224	10,068	11,628		事業タイ	交付金事業
	決算額	5,756	7,752	7,768	1,704	2,290		経費区分	普通建設事業費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	4	1	10	602	合併処理浄化槽設置費補助金	4,698	11,628
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	11,628

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1	循環型社会形成推進交付金(国:1/3)		2,138	
	2	合併処理浄化槽設置整備事業費補助金(県:1/3)		2,138	
	3				
	4				
	5以降				
				合計	4,276

事業要員	正規職員	0.3
	会計年度職員	0
	※所要時間	0

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) ☐ はい ☒ いいえ			
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) ☒ はい ☐ いいえ			
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) ☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み			
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある			
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある			
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定
9	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点～16点	維持または 事務改善	

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) ☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) ☒ いる ☐ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) ☐ 目標を達成できている ☒ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	本助成制度を活用して合併処理浄化槽を設置してもらい、市民生活の環境および公共用水域の水質保全に努める。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	合併処理浄化槽設置件数 3件
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題 補助対象区域(下水道使用不可能区域)の人口減少および高齢者のみ世帯の増加により、新規設置数は増加しない見込みである。 住宅以外に対する補助は、国費と県費が付かないため、全額市の持ち出しになっている。	
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点 令和7年度以降も国費と県費の補助が継続する方向であるので、今後の広報の方法を検討したい。	
	R7方向性⇒	維持

CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	農業集落排水施設整備事業
R5年度 事業名	農業集落排水施設整備事業

総合戦略 体系	450	『住みたいまち』で、さばえる！安心して 快適で魅力的なまちをつくる	環境にやさしい魅力的なまち	自然環境の保全
------------	-----	--------------------------------------	---------------	---------

P L A N 計 画	部署名	上下水道課		開始年度	1990	終了年度	9999
	目的	農業集落排水の処理区域内において、公共樹が未設置の箇所に公共樹を設置することにより、市民の生活環境基盤の整備と下水道接続率の向上を図る。					
	概要	農業集落排水の処理区域内において、公共樹が未設置であるため、農業集落排水処理施設を利用できない市民の要望に応え、公共樹を設置することにより、市民の生活環境基盤の整備を図るとともに、下水道への新規接続を推進する。					
	法令等 根拠		実施 形態	内 容			
	現在	民間等委託(一部)					

活動指標									
指標名			単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
公共樹の設置数			ヶ所	目標値	10	10	10	10	10
				実績値	38	35	16	20	
成果指標									
指標名			単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
下水道接続人口			人	目標値	11,400	11400	11,400	11,400	11,400
				実績値	11,463	11,477	11,437	11,415	
計算 根拠				達成率	100.6	100.7	100.3	100.1	
				実数値					
下水道接続率			%	目標値	92.5	92.6	92.7	92.8	92.9
				実績値	92.5	94.4	94.3	94.4	
計算 根拠	接続人口/区域内人口			達成率	100	101.9	101.7	101.7	
				実数値	11,463/12,393	11,477/12,164	11,437/12,130	11,415/12,093	
				ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由									

事業費

【単位：千円】

区分	2020	2021	2022	2023	2024
予算額	15,000	17,419	22,000	18,000	15,000
決算額	14,718	17,419	20,351	8,008	7,540

会計	農業集落排水事業会計
事業タイプ	単独事業
経費区分	普通建設事業費

歳出予算

No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
1	4	1	9		管渠整備費		15,000
2							
3							
4							
5以降							
合計							15,000

補助金等

No	R6年度補助金等名称	金額(千円)
1	受益者分担金	15,000
2		
3		
4		
5以降		
合計		15,000

事業要員	正規職員	0.2
	会計年度職員	0
	※所要時間	0

CHECK 評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ		
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ		
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み		
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある		
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある		
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定
12	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点～16点	維持または 事務改善	

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
有効性	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	下水道未接続世帯等への普及活動を実施し、下水道接続率の向上を図る。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	公共樹設置数 16箇所 下水道接続率 94.3%
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題 接続にも費用がかかることから、浄化槽が使用可能である間は、下水道への接続推進は難しい。	
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点 特になし	
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】

年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名		
	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名		
	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	下水道新規接続推進事業
R5年度 事業名	下水道新規接続推進事業

総合戦略 体系	450	『住みたいまち』で、さばえる！安心して快適で魅力的なまちをつくる	環境にやさしい魅力的なまち	自然環境の保全
------------	-----	----------------------------------	---------------	---------

P L A N 計 画	部署名	上下水道課		開始年度	1985	終了年度	9999
	目的	下水道事業を広く市民に啓発し、下水道事業に関する理解と知識を深めるとともに、下水道の普及促進を図る。（鯖江市下水道条例・鯖江市農業集落排水処理施設設置および管理に関する条例）					
	概要	毎年開催される「さばえ環境フェア」において、下水道事業に関するブースを設け、下水道事業の普及啓発のためのパネル展示および下水道クイズの実施を通して市民に広く啓発し、下水道事業に関する理解と知識を深めながら、下水道の普及促進を図る。 また、市内各地区で開催される行事の中で同様の取組みを実施し、下水道の普及促進を図る。					
	法令等 根拠	下水道法	実施 形態	内 容	環境フェアおよび地区公民館へ市職員が出向き、下水道の普及啓発に関するパネルの展示と下水道クイズの受付等を実施している。		
	現在	市直営					

	活動指標									
	指標名			単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	下水道普及促進活動の開催、環境フェア等			回	目標値	-	-	-	-	-
					実績値	-	-	-		
	成果指標									
	指標名			単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	参加者数			人	目標値	-	-	-	-	-
					実績値	-	-	-		
	計算 根拠				達成率	-	-	-		
					実数値					
				ランク	-	-	-			
前年度 ランク B、Cの 理由										

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	公共下水道事業会計
	予算額	40	0	0	0	0		事業タイプ	単独事業
	決算額	0	0	0	0			経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	2	1	5		汚水一般管理費		0
	2							
	3							
	4							
	5以降							
								合計

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1				
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	0

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) ☐ はい ☒ いいえ				効率性 改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) ☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している 業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している 市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない 財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない 効果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) ☐ 目標を達成できている ☒ 進展している ☐ 目標に向かっていない
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) ☒ はい ☐ いいえ				
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) ☐ 増加する見込み ☐ 横ばい ☒ 減少する見込み				
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある				
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある				
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定	
8	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	事務改善または 廃止・休止	
	9点～16点	維持または 事務改善		

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組 内容	農業集落排水施設整備事業・新規接続推進事業および公共下水道施設整備事業・新規接続推進事業における「新規接続推進事業」を、本事務事業で実施するため統合した。	
来年度へ 向けて	R5年度実績 実施なし R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題 公共下水道の整備の概成、新規接続の義務化等の現状を見ると、普及啓発活動は既に一定の成果を出していると考え。 実績と課題を踏まえたR7年度の変更点 特になし R7方向性⇒ 廃止 CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	
	市民主役事業にかかる額(単位千円): 0
R7年度 事業名	
	市民主役事業にかかる額(単位千円): 0

R6年度 事業名	公共下水道施設整備事業
R5年度 事業名	公共下水道施設整備事業

総合戦略 体系	450	『住みたいまち』で、さばえる！安心して 快適で魅力的なまちをつくる	環境にやさしい魅力的なまち	自然環境の保全
------------	-----	--------------------------------------	---------------	---------

P L A N 計 画	部署名	上下水道課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	公共下水道の供用開始区域内において、公共枡が未設置の箇所に公共枡を設置することにより、市民の生活環境基盤の整備と下水道接続率の向上を図る。				
	概要	公共下水道の供用開始区域内において、公共枡が未設置であるため公共下水道を利用できない市民の要望に応え、公共枡を設置することにより、市民の生活環境基盤の整備を図るとともに、公共下水道への新規接続を推進する。				
	法令等 根拠	下水道法	実施 形態	内容		
	現在	民間等委託（一部）				

活動指標									
指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025	
公共枡の設置数		個	目標値	20	20	20	20	20	
			実績値	141	118	90	128		
成果指標									
指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025	
下水道接続人口		人	目標値	47,300	47,400	47,840	47,850	47,500	
			実績値	47,692	47,738	47,642	47,475		
計算 根拠			達成率	100.8	100.7	99.6	99.2		
			実数値	47,692/50,703	47,738/50,751	47,642/50,658	47,475/50,560		
下水道接続率		%	目標値	94.1	94.2	94.3	94.3	94.0	
			実績値	94.1	94.1	94.0	93.9		
計算 根拠	接続人口/区域内人口		達成率	100	99.9	99.7	99.6		
			実数値	47,692/50,703	47,738/50,751	47,642/50,658	47,475/50,560		
			ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	公共下水道事業会計
	予算額	30,000	42,500	36,000	57,000	60,000		事業タイプ	単独事業
	決算額	30,000	42,500	36,000	57,000	55,441		経費区分	普通建設事業費
	【単位：千円】								

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	4	1	2		汚水管渠整備費(単		60,000
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	60,000

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1	受益者負担金		200	
	2	下水道事業債		59,800	
	3				
	4				
	5以降				
				合計	60,000

事業要員	正規職員	0.3
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) ☒ はい ☐ いいえ				効率性 改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) ☐ 節減できている ☐ 横ばい ☒ 増加している	
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) ☒ はい ☐ いいえ					デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) ☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み					
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある					業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある					
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定	有効性 財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) ☒ いる ☐ いない	
11	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) ☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない	
	9点～16点	維持または 事務改善			

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	下水道未接続世帯等に対する普及活動を実施し、下水道接続率の向上を図る。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	公共樹設置数 90箇所 下水道接続率 94.0%
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題 接続にも費用がかかることから、浄化槽が使用可能である間は、下水道への接続推進は難しい。	
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点 浄化槽の設置状況に注視し、主に老朽化が進んでいる世帯に対する下水道への接続普及活動を行う。	
	R7方向性⇒	維持

CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	公共下水道施設整備事業・雨水排水路整備
R5年度 事業名	公共下水道施設整備事業・雨水排水路整備

総合戦略 体系	442	『住みたいまち』で、さばえる！安心で 快適で魅力的なまちをつくる	強靱で安全・安心なまち	浸水被害の軽減
------------	-----	-------------------------------------	-------------	---------

P L A N 計 画	部署名	上下水道課	開始年度	1974	終了年度	9999
	目的	雨水幹線等の整備を行い、浸水被害を軽減することにより、安全・安心の向上を図る。				
	概要	5年に1回規模の降雨に対して浸水被害を解消することを目標に、雨水幹線を整備する。				
	法令等 根拠	下水道法、都市計画法	実施 形態	内 容	測量・地質調査・設計については、資格の有する民間に委託している。	
	現在	民間等委託（一部）				

	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	雨水幹線等整備延長		m	目標値	620	1,000	606	330	380
				実績値	701	1,115.2	526	388.3	
				達成率	113.1	111.5	86.8	117.7	
	計算 根拠			実数値					
				ランク	A	A	B		
前年度 ランク B、Cの 理由	地元協議の結果、仮設工事に不測の費用が掛かり、整備延長が減となったため。								

事業費

区分	2020	2021	2022	2023	2024
予算額	236,800	380,000	311,800	149,000	120,000
決算額	236,800	252,093	311,800	139,300	117,500

歳出予算

No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1								
2								
3								
4								
5以降	前年度繰越額							120,000
合計							120,000	

補助金等

No	R6年度補助金等名称	金額(千円)
1	社会資本整備総合交付金(50%)	60,000
2	下水道事業債	60,000
3		
4		
5以降		
合計		120,000

事業要員

正規職員	0.87
会計年度職員	
※所要時間	0

CHECK 評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	13
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない

有効性

成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない
--	---

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	御幸神中一号雨水幹線および雨水支線の函渠整備を行い浸水被害のないまちづくりを目指す。 (国土強靱化地域計画に位置付けられる事業)	
来年度へ向けて	R5年度の実績 雨水幹線整備延長 L=525.7m	
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題 特になし	
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点 特になし	
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】

年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円):

0

R7年度事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円):

0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	緊急時給水拠点確保等事業
R5年度 事業名	生活基盤耐震化等交付金事業

総合戦略 体系	443	『住みたいまち』で、さばえる！安心で 快適で魅力的なまちをつくる	強靱で安全・安心なまち	上水道耐震管路の整備（更新）
------------	-----	-------------------------------------	-------------	----------------

P L A N 計 画	部署名	上下水道課	開始年度	2014	終了年度	2025
	目的	災害時に特に水を必要とする病院や公共施設・緊急避難施設等へ水道水を供給する重要管路を、地震が発生しても機能を維持しうる耐震管に更新整備を行い、災害に強い水道を目指す。				
	概要	重要路線の配水管等を、計画的に耐震管に更新する。				
	法令等 根拠	水道法第2条（責務）、水道施設の技術的基準を定める省令	実施 形態	内 容	設計業務の一部委託	
	現在	民間等委託（一部）				

D O 実 施	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	整備延長		m	目標値	930	915	540	695	1425.6
				実績値	541	757	562	321.7	
	計算 根拠			達成率	58.2	82.7	104.1	46.3	
				実数値					
				ランク	C	B	A		
	前年度 ランク B、Cの 理由								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	水道事業会計
	予算額	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000		事業タイ	補助(国)事業
	決算額	200,000	51,540	91,584	88,900	69,584		経費区分	普通建設事業費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	4	1	1		拡張事業費		160,000
	2							
	3							
	4							
	5以降	前年度繰越額 補正40,000千円						
							合計	200,000

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1	社会資本整備総合交付金(国1/4)		50,000	
	2	企業債		150,000	
	3				
	4				
	5以降				
				合計	200,000

事業要員	正規職員	1.8
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	13
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) ☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない) ☒ いる ☐ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) ☒ いる ☐ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) ☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	災害時(地震等)に特に水を必要とする病院、災害時に支援者利用施設および公共施設や災害対策の拠点施設、緊急避難施設等に至る重要管路の耐震化を計画的に整備する。 施工延長 L=695m	
来年度へ向けて	R5年度実績 耐震管路の整備延長 L=562m R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題 資材や人件費高騰により、整備延長の達成が難しい。 耐用年数を超えた管路の計画的な更新・耐震化のために必要な資金を確保する必要がある。	
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点 特になし	
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	田んぼダム推進事業
R5年度 事業名	田んぼダム推進事業

総合戦略 体系	442	『住みたいまち』で、さばえる！安心で 快適で魅力的なまちをつくる	強靱で安全・安心なまち	浸水被害の軽減
------------	-----	-------------------------------------	-------------	---------

P L A N 計 画	部署名	上下水道課	開始年度	2012	終了年度	9999
	目的	水田が有する本来の貯水機能を利用し、大雨時に一時的に水を貯めることで、洪水被害を軽減する。				
	概要	田んぼの排水口に排水管（径φ150）より小さな穴の（径φ60）調整板を設置することにより、一時的に貯水する。				
	法令等 根拠		実施 形態	内 容		
	現在	民間等委託（一部）				

活動指標								
指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
排水機改修水田面積		ha	目標値	100	80	92	78	43
			実績値	101	80	81	37	
計算 根拠			達成率	101	100	88.0	47.4	
			実数値					
			ランク	A	A	B		
前年度 ランク B、Cの 理由	実施を予定していた上戸口町にて他事業により実施が困難となり、受益面積が減ったため。							

事業費

区分	2020	2021	2022	2023	2024
予算額	15,000	15,000	11,800	11,800	8,310
決算額	15,000	10,000	11,800	11,800	8,310

【単位：千円】

会計	一般会計
事業タイプ	補助（県）事業
経費区分	普通建設事業費

歳出予算

No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額（千円）
1	6	1	6	541	田んぼダム推進事業費	10,000	8,310
2							
3							
4							
5以降							
						合計	8,310

補助金等

No	R6年度補助金等名称	金額（千円）
1	県単土地改良事業補助金（県100%）	700
2	田んぼダム利活用促進事業補助金（国100%）	7,610
3		
4		
5以降		
合計		8,310

事業要員

正規職員	0.5
会計年度職員	
※所要時間	0

CHECK 評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 （1はい・0いいえ）	☐ はい ☒ いいえ
行政が実施すべき事業か。 （1はい・0いいえ）	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 （2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み）	☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 （1ない・0ある）	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 （1ない・0ある）	☒ ない ☐ ある
合計 点数	12
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性

改善を行い、コストの削減を図っているのか。（2節減できている・1横ばい・0増加している）	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 （2向上している・1横ばい・0低下している）	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
業務プロセス（進め方・手続き）の向上を図っているのか。 （2向上している・1横ばい・0低下している）	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。 （1いる・0いない）	☒ いる ☐ いない

有効性

財源（補助金等、受益者負担など）を確保しているか。 （1いる・0いない）	☒ いる ☐ いない
成果は目標を達成できているか。 （2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない）	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	大雨が降ったときの浸水被害軽減の為、引き続き田んぼダム事業を推進し、実施面積を拡大していく。 （国土強靱化地域計画に位置付けられる事業）	
来年度へ向けて	R5年度の実績 整備面積 A=81ha	
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題 特になし	
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点 特になし	
	R7方向性⇒	維持
	CHECK（次年度方向性の目安）とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】

年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名

市民主役事業にかかる額（単位千円）：0

R7年度事業名

市民主役事業にかかる額（単位千円）：0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	キャッシュレス収納推進事業
R5年度 事業名	キャッシュレス収納推進事業

総合戦略 体系	512	体制・組織強化の取組	体制・組織強化の取組	窓口サービスの向上
------------	-----	------------	------------	-----------

P L A N 計 画	部署名	上下水道課		開始年度	2016	終了年度	9999
	目的	上下水道使用者が、いつでもどこでも非接触型で納付できる環境を提供する。					
	概要	平成27年1月から窓口でのクレジット払いを県内初で開始 平成29年1月からクレジットカード継続払い開始 平成30年4月よりスマホアプリでの収納開始					
	法令等 根拠		実施 形態	内容	クレジット決済代行会社のHPで申込者情報（一覧）を確認し、重複等をチェックしており、該当者がいれば一方を削除している。また、停止やカード変更の申込みがあれば、その対象者データの削除等を行っている。		
	現在	その他					

D O 実 施	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	クレジット等収納実施率		%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	100	100	100	100	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	クレジット等収納実施件数		件	目標値	700	800	900	1,000	1,100
				実績値	970	1,163	1,327	1,768	
	計算 根拠			達成率	138.6	145.4	147.4	176.8	
				実数値					
				ランク	A	A	A		
	前年度 ランク B、Cの 理由								

タイプ	会計	水道事業会計
	事業タイ	単独事業
	経費区分	物件費

合計	3,380
----	-------

事業要員	正規職員	0.3
	会計年度職員	
	※所要時間	0

効 率 性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている	☒ 横ばい	☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している	☒ 横ばい	☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している	☒ 横ばい	☐ 低下している
	市民団体や事業者にも業務委託しているか。(1いる・0いない)	☐ いる	☒ いない	
金 銭 面	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	☐ いる	☒ いない	

有効性

成果は目標を達成できているか。
(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)

☐ 目標を達成できている ☒ 進展している ☐ 目標に向かっていない

来年度へ向けて	R5年度の実績	クレジット等取納実施件数 15,932件
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題 クレジット取納が増加傾向であるが、取扱信販会社等に支払う手数料やシステム利用料が高額である。	
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点 特になし	
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

R6年度 事業名		市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度 事業名		市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	窓口業務等包括的民間委託事業(上下水道事業)
R5年度 事業名	窓口業務等包括的民間委託事業(上下水道事業)

総合戦略 体系	513	体制・組織強化の取組	体制・組織強化の取組	効率的な行政運営
------------	-----	------------	------------	----------

P L A N 計 画	部署名	上下水道課		開始年度	2016	終了年度	9999
	目的	市民サービスおよび窓口サービスの向上と上下水道料金の収納率の向上および民間の専門性の高いノウハウを導入し、鯖江市民および地元業者の活用による地域雇用の創出を行い、人件費の削減を図る。					
	概要	委託業務 窓口・電話受付業務・メーター検針、料金の調定・収納業務、滞納整理業務、会計処理業務等料金関係業務、受益者負担金業務、排水設備等申請受付業務等を一括委託。 鯖江市上下水道お客様センター開設維持。					
	法令等 根拠		実施 形態	内容	平成28年10月より、窓口業務を含めた19業務をお客様センターに委託、令和3年度には契約内容を一部改め、21業務を委託している。		
	現在	民間等委託(一部)					

	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	来庁者等の満足度		%	目標値		80	80	80	80
				実績値		93.3	70	86.7	
	計算 根拠	来庁した市民へ窓内対応に関するアンケート調査を実施し、回答者の「満足」以上の評価の割合を根拠とする。	達成率		116.6	87.5	108.4		
			実数値		14/15	14/20	13/15		
		ランク		-	A	B			
前年度 ランク B、Cの 理由	下水道接続実態調査の調査票配付に対する問合せ・苦情等があったため、満足度が下がった。								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	水道事業会計
	予算額	82,500	70,488	70,488	70,488	73,488		事業タイプ	単独事業
	決算額	82,500	70,488	70,488	70,488	70,488		経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	2	1	4		業務費		73,488
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	73,488

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1				
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	0

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) ☐ はい ☒ いいえ				効率性 改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) ☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している	
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) ☒ はい ☐ いいえ					デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) ☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み					
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある					業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある					
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定	有効性 財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない	
9	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) ☐ 目標を達成できている ☒ 進展している ☐ 目標に向かっていない	
	9点～16点	維持または 事務改善			

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	民間委託した窓口業務等の21業務について、民間事業者のスキルを活かし、市民への丁寧な応対や、給排水設備検査の厳格化など、サービスおよびスキルの向上に努める。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	下水道の公共樹関連の手続きに関する確認シートを作成して、お客様センター職員の情報共有を図ることで、市民への対応をより丁寧に行った。給水関連データの更新頻度を上げて、業務効率を向上した。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題 受託業者の離職が多いこと、技術者が高齢者であり、今後の技術継承が危ういこと。	
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点 特になし	
	R7方向性⇒ 維持	

CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0